

コア会議での意見に対する回答（コア会議 第9回～第11回）

コア会議 資料3 -②

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
118	4つの基本方針	基本方針の4）まちづくりを支える仕組み部分は記載する必要はないのではないか。	基本方針としては4つの基本方針のままとし、「まちづくりを支える仕組み」については、「第Ⅵ章 まちづくりマスタープランの実現に向けて」の部分で詳細に記述する構成としている。
119	策定の経緯	序章の策定経緯は巻末資料で問題ないのではないか。	ご指摘の通り、巻末の参考資料に記載する。
120	駅周辺まちづくり基本計画	地域別まちづくり方針の前に、日野、豊田、高幡不動の三大拠点のまちづくり方針も必要ではないのか。駅周辺の内容であれば都市構造の部分で少し書いてもよいかもしれない。検討してほしい。	駅周辺まちづくり基本計画において、3駅周辺のまちづくりの考え方と方針図を記載している。
121	まちづくり基本計画	まちづくりの基本方針と目標の項目で、情報と省エネといった項目をいれてほしい。例えば省エネでいうとガソリンは値上がりしており、エネルギー問題も重要になってくる。太陽光発電や、日野市では小水力発電といったことも推進しているようなので、入れるべきではないか。また、情報についても、介護にIoTやAIを活用するなど新しいことをいれてはどうか 「（情報）」といった形だけでもよい。 項目にはなくても検討するテーマや取り組みの中に、ITやAIを使った高齢者対応の住宅地マネジメントの検討が入っていればよいかもしれない。再生可能エネルギーの利活用として、自然環境の保全とエネルギー保全の調和等の取り組みを加筆すべき。	省エネに関しては、基本方針2-1③環境負荷の少ない、自然に配慮したまちづくりの推進の部分で記述している。 情報に関しては、序章2-2）時代の変化に対応したまちづくりの新たな課題の中、（4）人の生活の変化、そしてこれからのまちづくりに求められる視点＜情報・通信技術の高度化＞の部分で記述している。
122	まちづくり基本計画	災害対応についても、再生可能エネルギーや自立性のあるエネルギーシステムが、拠点にはあったほうがよいと思う。日野市全体では考えにくいと思うが、例えば小学校には太陽光パネルで蓄電し、災害時にはそこである程度暮らせるレジリエントなまちづくりみたいなことをいろんな自治体でもやっている。そういった先端的な技術をどうやって組み込んでいくかということを考えてみてほしい。様々な所管で考えている内容も集めて記載してほしい。	災害対応に関しては、基本方針2-1①災害に強いまちづくりの推進の部分で記述している。
123	まちづくり基本計画	日野には良い環境が多く残っているが、つながっていない。緑の連続があってそこからカフェに繋がるなど、そういった環境が無い。昔は自然しかなかったが、のどかであった。そこからどんどん面白くない方向に発展している。駅とつなげるまち歩きルートなど考えられると良い。	3-1②内外から人が集まりにぎわうレクリエーションの拠点づくりにおいて以下の記述を行っている。 ・観光協会による観光まちづくりプラットフォーム等と連携し、日野の地域資源である水路や緑地等の自然と、日野宿や高幡不動尊等の歴史の要素を相互につなげる、面的な観光施策を推進していきます。また、多摩地域の周辺市との連携により、各駅地域全体の観光を活性化を図ります。
125	地域別構想	地域別構想の各地区の1枚目に、人口や世帯の動態を分析し、地区ごとに分析されたことを記載するべき。	地域別構想の各中学校区において、人口動態に関する記述を追加している。

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
126	地域別構想	計画の最後の方に、プロジェクトを進めるうえでの短期・中期・長期の仕分けを記載するべき。	第Ⅵ章 2. まちづくりマスタープランの計画的な進行管理 において、主要な施策の取り組み時期（短期・中期・長期）の考え方を、まちづくりロードマップとして記載している。
129	イメージ図について	パースなや空間がわかる図など、ビジュアル化したものがあると市民がイメージしやすいのではないか。各中学校区で特徴的な要素を抽出して描けるとイメージしやすいかもしれない。 住宅地としてどのような空間ができるのか、緑地になるのか、など絵があると全体的な空間がイメージできる。検討いただきたい。	第Ⅲ章 日野市の目指す姿とまちづくりの方向性 4. 将来のまちのイメージ においてイメージ図を掲載している。
130	①大坂上中学校地域	「日野駅を日野の玄関として…」と記載されているが、将来的な計画として駅ビルを整備し、公共機能が入ることで駅周辺で行政手続きが行えるようにすることなどが考えられると良い。併せて電柱の地中化も進められると良い。	日野駅周辺については「日野の玄関」となる駅周辺を目標とし、にぎわいづくりを目的として【交流拠点づくり】のプロジェクトの中で「市民が自由に活動できる多目的施設の整備」「駅周辺の子育て支援・福祉サービス施設及び機能の充実」等を記載している。
131	①大坂上中学校地域	日野自動車の敷地の方針が「操業環境の維持」となっているが、おかしいのではないか。	ご指摘の通り、以下のように修正している。 「 予め対話を行い、今後の土地利用を検討していくべき地域 」
132	②第一中学校地域	大坂上中学校地域と第一中学校地域では日野駅が地域の境界であるが、境界部分は共有しているため、両方の地域で同じプロジェクトが記載されていたほうが自然ではないか。日野崖線等は地域を横断しているため、隣接する地域で同じプロジェクトが記載されるべきではないか。	全市的に共通した課題等はテーマ別の部分に記載し、地域固有の内容を地域別に記載している。地域ごとに共通する内容についても、できるだけ地域ごとに分けて細かい内容を記載する方針としている。
133	②第一中学校地域	中央公民館の建替えの話を耳にしたが、高層ビルを建てて下層階は公民館として、上層階をホテルやマンションにできると人が集まるのではないかと考える。うまく活用できるのではないか。	暮らし方の目標 3：子どもからお年寄りまでが交流できる場所のある暮らし において以下のように記述している。 【多世代のふれあいの場づくり】 ・公民館・図書館・地区センター・市民活動支援センター等の公共施設の再編・更新
134	②第一中学校地域	旧甲州街道も散策ルートに加えるよう検討いただきたい。	点在している施設を結ぶことと、歴史的な散策ルートについては観光振興の方で検討しており、今後も引き続き検討を進める方針である。
135	②第一中学校地域	浸水想定区域についてで 3 階建ての建物を推進すべきなどの意見出したが、検討いただきたい。モノレール東側は用途変更するなど。特に第四小学校は危険な地域であるため、災害拠点として整備する等、検討いただきたい。	まちづくり基本計画 2 - 1 ①災害に強いまちづくりの推進 において以下の記述を行っている。 ■土砂災害や風水害に強いまちをつくる ・風水害への対応として、人の生命の危機に関わる水位の浸水想定区域においては、早期の自主避難を促すとともに、緊急時にやむを得ない場合に必要となる垂直避難（高層建物等への避難）が可能となるような空間の確保を誘導します。高所避難が可能な規模での公共施設、民間の集合住宅やモノレール駅、中央自動車道等の高層建物、構造物への避難など非常時の協定締結の検討を進めていきます。
136	②第一中学校地域	中央自動車道の日野バス停から甲州街道駅までの案内（サイン計画）が必要であるため、記載できると良い。	暮らし方の目標 6：モノレール駅を生活の拠点とし、緑のある住宅地を楽しむ暮らし において以下の記述を行っている。 【日野の歴史を感じる】 ・甲州街道駅と中央道日野バス停の交通結節機能を強化し、周辺地域を含め広域交流拠点として一体的に育成する
137	②第一中学校地域	暮らし方の目標 6 について、モノレールは交通機能としての役割がメインであるため、「駅舎内のベンチ・案内板…」や「…駅周辺でのフリーマーケット…」がプロジェクトの初めにくるのは違和感があるため、掲載する順序を整理するべきである。駅の利便性等に関する内容が初めにくるべきである。	ご指摘の通り、修正している。

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
138	②第一中学校地域	石田橋の付近に整備予定の大規模な公園についても記載するべき。	暮らし方の目標 2：美しい自然豊かな住環境を守り育てることのできる暮らしにおいて以下の記述を行っている。 【多様な公園づくり】 ・北川原公園は周辺環境に配慮した市民の利用しやすい公園とし、避難場所・防災公園としても活用し防災機能を充実
139	②第一中学校地域	方針図の多摩川沿いの緑塗りについては何か意味があるのか。	日野市に関係ない部分は図面の塗りを変更している。
140	②第一中学校地域	また万願寺グラウンドは削除するべき。	ご指摘の通り、修正している。
141	②第一中学校地域	中央公園に地区センターがあるが、印が表示されていないため表示するべき。	ご指摘の通り、修正している。
142	③第二中学校地域	暮らし方の目標 1 の「湧水源となる緑地内での大規模団地建設等の規制」について説明いただきたい。 湧水に十分配慮して団地の建替えや大規模敷地の開発を行うという点が重要である。	表現として適切ではないため、以下のように記述を修正している。 【湧水の保全】 ・湧水源や緑地に配慮した大規模団地の更新や開発の誘導
143	③第二中学校地域	暮らし方の目標 4「誰にとってもやさしい駅周辺づくり…」の、「安心して歩ける駅前づくり」部分について、「…商店会による取り締まりチームの結成…」はもう少し要点を押さえて記載するべきである。違法駐車は大幅解消されたのではないか。また、銀行の休日一般開放も必要ないのではないか。既に改善されたものは記載する必要はないのではないか。	違法駐車や銀行の休日一般開放等は一定程度解消されたため、削除している。
144	③第二中学校地域	駅前空間は、小さなスペースで既存施設等の活用も含めてスマートに考えるのが今どきの考え方である。お金をかけて駅前ロータリーを拡大するのではなく、駅前空間をマネジメントする方針としたほうが現実的である。	暮らし方の目標 5：快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らしにおいて以下のように記述している。 【使いやすい北口駅前づくり】 ・北口ロータリーの再整備や駅前空間の利活用の検討
145	③第二中学校地域	豊田駅からイオンまでの道に屋根を架けることで、雨に濡れずに行けるようになると良い。 世の中的にはメンテナンス費用がかさむこともありアーケード撤去が主流で、道に屋根を架けることについては賛否ある。 店舗と連携し屋根の下を通過して濡れないようにする方針は考えられるかもしれない。	暮らし方の目標 5：快適性を備えた、豊田駅周辺を自慢できる暮らしにおいて以下のように記述している。 【使いやすい北口駅前づくり】 ・駅と駅前商業拠点つなぐ歩行者環境の整備の検討
146	③第二中学校地域	豊田駅と高幡不動駅間の直通バスが少なく不便であるため、充実させてほしい。南平と豊田の移動も同様である。	暮らし方の目標 4：誰もが安心して毎日の生活を送れて、自由に外出を楽しめる暮らしにおいて以下のように記述している。 【公共交通の充実】 ・駅前と市内各地域を連絡するバス路線の拡充
147	④第四中学校地域	西平山の取り残された地域について、コア会議でも意見が出たが、そこに対するプロジェクトは追加しないのか。	暮らし方の目標 3 誰もが安心して不便を感じることのない暮らしにおいて以下のように記述している。 【生活利便施設の充実】 ・広域幹線道路 日3・3・2号沿道の生活利便施設等の誘導 ・地区センターへの地域に不足する機能の導入検討

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
148	④第四中学校地域	暮らし方の目標 6 パートナースhip等によるまちづくりの部分に、「リビングラボの実施」と記載されているが、地域別で記載するか、別の部分で記載するかは要検討では。 地域別で記載する場合は他の地域にも反映するなど検討が必要。	リビングラボの実施については全体計画であるまちづくり基本計画にも掲載しているが、既に具体的な取り組みが始まっている第四中学校区と平山中校区において以下のように記載している。 ・産官学民による学びの場、実証実験の場であり、地域ニーズの発掘の場でもあるリビングラボの実施（交通、農業、医療など住民の暮らしに関わるテーマ） ・新しい交通手段の社会実証ができるようなモデル地区の指定（リビングラボの実施等） また、自動運転の可能性のある戸建て住宅地のある七生中学校区・三沢中学校区・第三中学校区において以下のように記載している。 ・新しい交通手段の社会実証ができるようなモデル地区の指定（リビングラボの実施等）
150		将来的に電気自動車や電動車いすが普及することを考えると、充電スポットも必要になってくる。将来的にニーズ増えるため、住宅地などで検討するべき。	平山中地域・七生中地域・三沢中地域・第三中地域に、以下の記述を追加している。 ・公的不動産や空き家・空き地等の地域資源を活用したバス停の整備、電動車椅子等の充電スタンドの設置
151	⑤平山中中学校地域	空き家の活用について地域ごとに様々な内容が記載されているが、全市的な空き家の方針についても考えるべきではないか。 暮らしの目標 2 の「防災まちづくり」部分に「空き家を活用した…」とあるが、具体的な場所を特定しないと意味がない。まずは日野市全体としての方針を検討し、空き家の活用方針を統一する作業が必要ではないか。	全市的な空き家の方針についてはまちづくり基本計画に記載し、地域別では具体的な内容を記載する方針としている。 まちづくり基本計画では、2-2 ②成熟した既存住宅地の維持・管理 ■ 空き家等の利活用の検討、③地域の魅力や価値の維持・向上 ■ 丘陵部住宅地等のエリアマネジメント等に記載している。
152	⑥七生中学校地域	丘陵部の短期的な方針として、まず空き家の利活用が考えられる。単身高齢者や高齢者夫婦世帯が暮らす住宅では部屋が余っているため、住み開きなども考えられる。更に人口が減少する地域は、空き家に機能を埋め込むことも考えられる。 放置されて管理がされていない空き家は問題だが、資源として上手く活用できれば付加価値を創出できる可能性もあるため、チャンスである。	丘陵部の住宅地における空き家の利活用については、まちづくり基本計画の2-2 ③地域の魅力や価値の維持・向上 ■ 丘陵部住宅地等のエリアマネジメントにおいて、以下のような施策を挙げている。 ④空き家等の利活用の検討（施策内容） ・空き住宅等対策の計画的な推進と進捗管理 ・管理不全の空き家の未然防止 ・関係団体との連携強化による不動産流通の促進 ・地域に資する空き住宅等の整備費の補助 ・空き住宅等情報のデータベースの構築 ・空き住宅等を活用した交流の場の創出 ・空き住宅等の利活用を促進するNPO団体等の育成と運営支援 また、2-3 ①多様な働き方や暮らし方ができる環境の整備 においても、施策として以下の記載をしている。 ・空き家・空き店舗等を活用した子育て支援施設の検討 ・空き家等を活用した自習スペース等の居場所づくり ・空き家や既存の施設の改修等によるサテライトオフィスやコワーキングスペース、起業のためのレンタルスペース等の整備
153	⑥七生中学校地域	住み替えについては、「都心の手ごうな場所へ移る」という選択肢と、「建て替えてミニ戸建てに住む」という選択肢がある。改修などであれば敷地が広い住宅でも勝負できるかもしれない。都市計画的な手立てとして、敷地面積120㎡の土地を100㎡に縮小することも考えられるのではないかな。	地区計画内の地域では、敷地面積の最低限度の緩和ではなく、ゆとりある住宅地としての付加価値を維持・向上させることを目指したい。それらを含め、第Ⅵ章 まちづくりマスタープランの実現に向けて1.まちづくりを支える仕組みにおいて、地区計画制度の活用について以下のように記述している。 ○地区計画制度の活用 …地区計画で定めるルールの内容は、現状の住環境の維持あるいは悪化の防止を目的とした土地や建築物に関する規制となっていますが、今後は現状維持にとどまらず、きめ細かなルールづくりの工夫をし、住環境のバリューアップにつながるような地区計画の実現に取り組んでいきます。
154	⑥七生中学校地域	ライフステージに応じた住み替えができる仕組みづくりとして、居住循環の視点が重要である。暮らし方が選択できることや、付加価値を創出することが必要になる。	まちづくり基本計画2-3 ②ライフステージに合わせて選択できる多様な住まいの提供 において以下のように記述している。 ■市内で住み替えができるような多様な住まい・住環境をつくる ・丘陵部の敷地にゆとりのある戸建て住宅あるいは低地部や台地部の利便性の高い共同住宅等の、様々な選択肢から自分のライフステージあわせて、市内でスムーズに住み替えを行うことのできる仕組み等を検討していきます。

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
155	⑥七生中学校地域	様々な世代が一緒に暮らす場所が「まち」であるため、高齢者しかいない地域、若者しかいない地域はまちではないと考える。60坪くらいあれば2世帯住宅が可能である。高幡台団地の改築などもできると良いのではないか。 高齢者だけが暮らす地域の場合、防災面の他に荷物運び等も課題であるため、若い人は必要である。	序章3. マスタープラン改訂の基本的な考え方 2) 時代の変化に対応したまちづくりの課題 において以下のような記述をしている。 ＜人口構造のバランスのとれた地域へ＞ …将来的な人口規模を見据えた上で、地域の課題に応じた施策を実施し、バランスの取れた都市構造を実現することが重要となります。（略）また、既存の住宅地や大規模団地においては、空き家・空き地への対応や、今後の生活に必要となってくる機能の補完や新たな機能への転換を図るなど、多世代間でバランスの取れた人口構成を誘導することが必要です。
156	⑥七生中学校地域	古い擁壁が残っている地域があり危険である。30年以上経過している擁壁も多いため、その辺りが不安である。特に個人所有擁壁をどのように整備するかは課題である。	まちづくり基本計画2-1 ①災害に強いまちづくりの推進 において施策について以下のように記述している。 ・安全性が確認できないブロック塀の倒壊による被害の防止、安全で快適な歩行空間の形成のための生垣化の推進 ・安全性の高いブロック塀への更新への支援
157	⑦三沢中学校地域	公共施設を再編することのメリットとデメリットを中長期的に考えているか。小学校の統廃合や公会堂、公民館の市民センター等、公共施設の再編について、再編後の公共用地を売ることによって短期的には税収も増えて管理費や人件費も減るなどメリットはあるが、例えば福祉のコストが上がることや、高齢者の認知症の発症率が増加することリスクとして考えられる。 人口や世帯の推移を見ると今後介護施設が更に必要になり、民間の介護保険関係の事業者では追いつかないことが想定される。今後そのような状況が想定される中で、公共施設の再編等は、多角的な観点で考えていくべきである。	2-2. 地域の特性を活かした、持続可能なまちづくりを進める ①生活基盤の整備と維持管理 ■ 公的不動産を柔軟に活用する において、公的不動産の考え方を以下のように記述している。 ・地区センターや公園などの地域資源である公的不動産を、時代のニーズや地域の実情に合わせて柔軟に用途転換できるよう準備を進めます。 ・公共公益施設については、地域に必要な機能を検討した上で、多様な主体が空間を共に利用すること（共用）、所有については運用面や費用対効果等を検討の上、民間事業者と共に所有すること（共有）を含めて検討していきます。 ・まちづくり用地としての機能の集約化・複合化、民間のノウハウを取り入れた管理・運営体制、社会情勢や地域の実情や、市の財政状況に見合った公共機能の再編について総合的に検討します。 ・再編の考え方は、事業者や個人が所有する土地についても同様であることから、市民の理解を得られるよう意識を醸成していきます。 ・公共施設については、民間施設との複合化の検討や、人口増減を踏まえた施設の増改築等を検討していきます。 ・公有地の有効活用、市民の生活の質の向上の観点から、近隣市との公共公益施設の相互利用について近隣市と連携し推進していきます。
159	⑦三沢中学校地域	目標3【防災まちづくり】 ・浸水高2.0m以上の地域、用途地域変更（3階以上の住宅の建設誘導）←※1中・2中も同様	まちづくり基本計画2-1 ①災害に強いまちづくりの推進 において以下の記述を行っている。 ■ 土砂災害や風水害に強いまちをつくる ・風水害への対応として、人の生命の危機に関わる水位の浸水想定区域においては、早期の自主避難を促すとともに、緊急時にやむを得ない場合に必要となる垂直避難（高層建物等への避難）が可能となるような空間の確保を誘導します。高所避難が可能な規模での公共施設、民間の集合住宅やモジュール駅、中央自動車道等の高層建物、構造物への避難など非常時の協
161	⑦三沢中学校地域	目標4【駅周辺の環境整備】 ・北口駅前地区の区画整理・再開発	三沢中学校地域のまちづくり方針図において、高幡不動駅の北側を「駅周辺の住環境の改善」をすべきエリアとして記載した
163	⑧第三中学校地域	多摩テックの緑は保全する方針なのか。	既存の緑を大きく損なう開発は行わない方針である。また、市街化調整区域であるため、一般の宅地開発や商業開発はしないように誘導したい。緑が保全されるような公益的利用を進めたい。 暮らし方の目標6：豊かな自然や観光資源を地域の誇りとして大切にしながら、楽しむ暮らし において以下の記述をしている。 ・多摩テック跡地は、緑の保全を目的とした公共公益施設の立地を誘導。予め今後の土地利用について対話を要する地域とする

No.	項目	意見	見解 赤字がMP本文に記載されている内容
164	⑧第三中学校地域	<p>程久保駅の北側には買い物する場所がない。診療所も無いため高幡不動まで移動しなければならないため、現状では住みたい地域とは思えない。</p> <p>程久保駅こそ整備を進めるべきである。現状のまちを2つのまちに分割して豊かな住宅地を再編できないか等考える必要がある。駅前の充実も重要である。商業施設が撤退しているため難しいかもしれないがコンビニを立地させるなど、何かしらテコ入れをしないと衰退していく。北側も南側も道路付けがとても悪い。小さい事業を入れて道路付けを良くすることで、車でも駅にアクセスしやすくする必要がある。</p> <p>程久保駅は事業を入れないと改善できない地域である。高齢化社会に対応した地域づくりを住民と対話しながら一緒に考えていく必要がある。</p>	<p>暮らし方の目標5：程久保駅周辺で、誰もが居心地の良い空間を楽しめる暮らし</p> <p>において以下の記述をしている。</p> <p>【駅前空間の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しめる駅周辺の施設整備 ・レンタサイクル・サイクルシェアの導入の検討、緑化された駐輪場の整備 ・駅と周辺の住宅地を結び地域の核となる駅前空間の実現 ・高幡台団地と駅をつなぐアクセス性の充実 ・周辺住宅地への生活サービス機能の充実 <p>また、程久保駅北側の住宅地や百草団地については、まちづくり方針図において以下の記述をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活サービスが不足する丘陵部住宅地では高齢者が住み続けられるよう生活支援機能や移動環境を充実
165	⑧第三中学校地域	<p>百草台団地について「地区まちづくりの推進」と記載されているが、検討内容が重要である。どういったことが課題で、どういったことを検討するのか。また多摩市との調整についても記載する必要がある。高幡台団地の地区まちづくり計画の中で、内容をマスタープランのどこかでコラム的に紹介できると良い。</p>	<p>暮らし方の目標3：住環境を自ら守り育てることのできる暮らし</p> <p>において以下の記述をしている。</p> <p>【公共施設の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高幡台団地地区地区まちづくりの推進と周辺公共公益施設の再編を含めた生活利便機能の誘導 ・百草台団地地区地区まちづくり（案）の検討（多摩市と連携） <p>また、第VI章 まちづくりマスタープランの実現に向けて 1.まちづくりを支える仕組み</p> <p>において、高幡台団地地区の地区まちづくりについて紹介する。</p>
166	⑧第三中学校地域	<p>目標3【利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協働で行う移動手段の仕組みの検討→（団地内を循環する自動運転車の整備）を追加 	<p>暮らし方の目標3：住環境を自ら守り育てることのできる暮らし</p> <p>において以下の記述をしている。（平山、七生、三沢地域も同様）</p> <p>【利便性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則的な道路網を備えた丘陵部住宅団地への自動運転の導入